



平成 22 年 5 月 20 日

各 位

会社名 テ ラ 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 矢崎 雄一郎  
(コード番号：2191)  
問合せ先 取締役管理本部長 山本 龍平  
T E L 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

## 独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センターにおいて 「樹状細胞ワクチン療法」の対象疾患拡大に関するお知らせ

～血液がんに加え、固形がんも対象に～

テラ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎雄一郎、以下「テラ」）は、独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター（所在地：鹿児島県鹿児島市、院長：山下正文、以下「鹿児島医療センター」）に対して、2009年6月より樹状細胞ワクチン療法<sup>※</sup>の技術・ノウハウを提供し、鹿児島医療センターは血液がんを対象疾患として治療を開始していましたが、この度、同センターは、血液がんに加え、各種固形がんも対象疾患とすることを決定し、これにより樹状細胞ワクチン療法の対象疾患が大幅に拡大されることとなりましたのでお知らせいたします。

鹿児島医療センターでは、血液がん患者に対する樹状細胞ワクチン療法が順調に実施されてまいりました。これを受けて、同センターでは、対象疾患を拡大し、南九州地区で初めて、既存の治療法以外の選択肢を希望する各種固形がん患者のみなさまに広くテラの技術・ノウハウに基づく樹状細胞ワクチン療法を提供することが可能となります。

鹿児島医療センターは、循環器、脳卒中およびがん診療の拠点病院として、地域の医療を支える鹿児島における中核病院として位置付けられており、がん診療に関しては、臨床病理科での病理診断や細胞診が既に行われています。テラは、鹿児島医療センターがさらに樹状細胞ワクチン療法における診療実績を重ね、効果の高い治療を確立していくことを引き続き支援してまいります。

テラは、がん患者のみなさまに新たながん治療のソリューションを提供するパートナーとして研究・開発に力を注ぎ、「革新的な医療技術・サービスを創造し、みなさまの未来に貢献すること」をミッションに、これからも医療と社会の未来のために可能性を創り続けてまいります。

なお、本件の対象疾患拡大による業績への影響は軽微であります。

以 上

**【※】 樹状細胞ワクチン療法**

本来、血液中に数少ない樹状細胞(体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞)を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの特徴を持つ物質(がん抗原)の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させる新しいがん免疫療法。「がんワクチン療法」のひとつであり、患者自身の細胞を用いてがん細胞のみを狙うため、副作用はほとんどないと言われています。